



第61回全日本
花 いっぱい
田辺大会



第61回全日本花いっぱい田辺大会

大会記念誌

田辺市では、「一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できるまちづくり」を理念に掲げ、市民の皆様とともに、「人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺」の実現に向け取り組んでいます。

そのような中、未来へつながっていく”フラワーロード”となるよう想いを込めて、『花咲かそう！街咲かそう！人咲かそう！』をテーマに令和5年3月「第61回全日本花いっぱい田辺大会」を開催いたしました。

会期中の2日間は、あいにくの小雨模様ではありましたが、市民の皆さんはもとより、全国各地から花いっぱい運動に携わっている大勢の全日本花いっぱい連盟加入団体の方々にお越しいただき盛大な大会となりました。また、多くの市民や子どもたちが育てた歓迎装飾の花プランター約2,700基が会場周辺で大会参加者をお迎えしました。

私たちは、この経験を生かし、「花を愛し、ふるさとを愛する心を育み、花と緑にふれあう」花いっぱい運動を自ら実践することにより、田辺の未来の子どもたちへ、“花を育て、心を育む”私たちの想いをつなげていきます。

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会



もくじ

主催者あいさつ	2
大会概要	4
交流レセプション	6
大会記念花火	9
大会記念式典	10
大会記念植樹・記念モニュメント披露	18
大会関連イベント	20
大会に向けての取組み	
大会ロゴコンテスト	25
花いっぱいサポーター	25
キックオフイベント	26
広報啓発活動	27
花いっぱいコンテスト	28
ガーデニングコンテスト	29
花いっぱい講習会	30
レガシーエリア	31
田辺市の花づくり活動団体の紹介	32
令和3年度 全日本花いっぱい連盟功労表彰 受賞者	36
花いっぱいサポーター(協賛型)のみなさま	39
花いっぱいサポーター(花育型)のみなさま	40
第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会	41



第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会

会長 田辺市長 真 砂 充 敏

第61回全日本花いっぱい田辺大会の開催にあたりまして、主催者を代表してご挨拶を申し上げます。

全国各地からこのように大勢の皆様方のご臨席を賜り、この大会を開催できますことは、誠に大きな喜びであり、市民を代表して皆様方のお越しを心から歓迎を申し上げます。

花いっぱい運動が昭和27年に松本市において産声をあげ、70年余りが経過した今もなお継続してこの全国大会が開催できますことは、申すまでもなく、全日本花いっぱい連盟会員の皆様方を中心とした日頃の活動の賜物であり、この素晴らしい実績を築き上げてこられました関係の皆様方に改めて敬意を表する次第です。

また、本大会開催のために、花の植栽や育成活動等にご尽力をいただきました市民の皆様をはじめ、花いっぱいサポーター、関係諸団体の皆様、この場をお借りしまして心から厚く御礼を申し上げます。

さて、本年、市制施行18周年を迎える田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置する近畿最大の行政区域を有するまちで、和歌山県・奈良県・三重県に跨る三つの霊場とそこにつながる参詣道、それらを取り巻く文化的景観で構成するユネスコの世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の中心地に位置しています。

さらに、地域環境を生かし、高品質な梅を持続的に生産してきた当地域独特の農業システム「みなべ・田辺の梅システム」が国際連合食糧農業機関の世界農業遺産に認定されており、二つの世界遺産を有するまちであります。

本市における花いっぱい運動の原点は、地域住民と一緒に豊かな自然環境と花いっぱいのまちづくりを通じて、魅力ある地域の創造と住民のボランティア運動の活性化に寄与することを目的に、昭和58年に発足した現NPO法人花つぼみの活動にあると言っても過言ではありません。

本大会におきましても、全国各地から皆様方をお迎えするにあたり、NPO花つぼみを中核として、市内各地における花の会や町内会、小中学校のほか、花いっぱいサポーターの方々が育てた“歓迎装飾花プランター”をJR紀伊田辺駅や記念式典会場までの沿道、主要幹線道路沿いに配置するとともに、春の花が咲き誇る本大会のメイン会場新庄総合公園では、幼稚園の園児たちがチューリップの球根を植えるなど、多くの市民の皆様と共に花いっぱい運動を展開してまいりました。

本市におきましても、本大会を機に、田辺の未来の子どもたちへ、“花を育て、心を育む”私たちの想いをつなげ、花いっぱい運動の輪が未来に向かってさらに大きく広がるよう取り組んでまいります。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました全日本花いっぱい連盟及び関係団体の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、全国各地において花いっぱい運動を実践しておられる皆様方のご健勝と、今後ますますのご活躍、加えてこの運動のさらなる発展を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



全日本花いっぱい連盟

会長 松本市長 臥雲義尚

全日本花いっぱい連盟会長、長野県松本市長の臥雲義尚と申します。連盟を代表してご挨拶を申し上げます。

1,000年以上も前から、上皇が多くのお供を連れてお参りした道「熊野古道」、地域環境を生かした現代の農業システム「みなべ・田辺の梅システム」、これら二つの世界遺産を有する田辺市で、第61回全日本花いっぱい田辺大会が開催されることを大変嬉しく思います。真砂市長をはじめ実行委員会の皆さんには、心からの敬意と感謝を申し上げます。

そして、ご来賓の皆様、全国で「花いっぱい運動」に取り組まれている会員の皆様に、ご参会いただきましたことに心よりお礼を申し上げます。

人々が戦争の荒廃から立ち上ろうと懸命だった昭和27年、長野県松本市の小学校の教員だった小松一三夢先生が提唱したこの「花いっぱい運動」は、地道な取り組みから70年が経過し、全国各地で受け継がれてきました。平凡にして非凡な発想、単純明快な実践運動だからこそ、環境美化活動から市民の生きがいや街賑わいに繋がる運動として発展し、今、大勢の人たちの心の中に根付いています。

田辺市におかれましては「花咲かそう！街咲かそう！人咲かそう！」を大会のテーマに掲げ、プレイベントを開催し気運の醸成に取り組んでこられました。

本日花いっぱい功労表彰を受賞される「NPO法人つぼみ」は40年に渡って「自分たちのまちを花でいっぱいになりたい」という思いで、魅力ある地域の創造と、住民のボランティア運動の活性化に取り組まれてきました。さらに和歌山県では、今日お目見えの二階俊博衆議院議員が会長を務められる「和歌山県花を愛する県民の集い」が昭和55年に設立されて以来、ヨーロッパの国々に負けないような花いっぱいの街づくりに取り組まれてきました。

3年にも及んだコロナ禍の行動制限から、私たちは自由になろうとしています。自由の機運をより高め、人の心を豊かにし、社会や経済に賑わいと活力をもたらしてくれるのは、日常の生活を彩る花やみどりの美しさだと思います。一つひとつは小さな花が一堂に集まることによって、観るものを圧倒する力へと力強いものへと変わります。花いっぱい運動が、次代を担う大勢の子どもたちに継承され、日本全国へ、そして今なお戦火がやまない世界へと広がり、平和な世の中が実現することを切に願ひまして、ご挨拶とさせていただきます。



大会概要

花いっぱい全国大会とは

まだ戦争の影響が色濃く残り、人々の心にも余裕が持てない時代の中で、社会を美しく、また花を通じて人々の気持ちをより豊かにし、人の心に美しい大輪の花を咲かせることを活動理念として、長野県松本市の教員であった小松一三夢先生が提唱し、取り組み始めた「花いっぱい運動」を全国・世界に広げることを目的とした大会で、昭和30年11月に松本市で全国結成大会が開催されました。和歌山県では、平成14年4月の第45回和歌山大会(第5回世界大会)以来、田辺大会が20年ぶり2度目の大会となります。

主催

全日本花いっぱい連盟(事務局：長野県松本市)

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会(事務局：田辺市建設部管理課)

共催

田辺市

NPO法人花つぼみ

後援

和歌山県、和歌山県花を愛する県民の集い、田辺市議会、田辺市教育委員会、田辺市自治会連合会、田辺商工会議所、国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所、西日本旅客鉄道株式会社紀伊田辺駅、田辺市校長会、田辺市公民館連絡協議会、田辺市社会教育委員会議、社団法人田辺市社会福祉協議会、田辺市女性会連絡協議会、公益社団法人白浜・田辺青年会議所、田辺市商店街振興組合連合会、南紀みらい株式会社、株式会社テレビ和歌山、株式会社和歌山放送、株式会社紀伊民報、FM TANABE (順不同)

協賛

花いっぱいサポーターのみなさま

大会テーマ

花 咲かそう！ 街 咲かそう！ 人 咲かそう！

「花を愛し、ふるさとを愛する心を育み、花と緑にふれあう」花いっぱい運動を自ら実践することにより、田辺の未来の子どもたちへ、「花を育て、心を育む」私たちの想いをつなげていきたい。

大会ロゴ

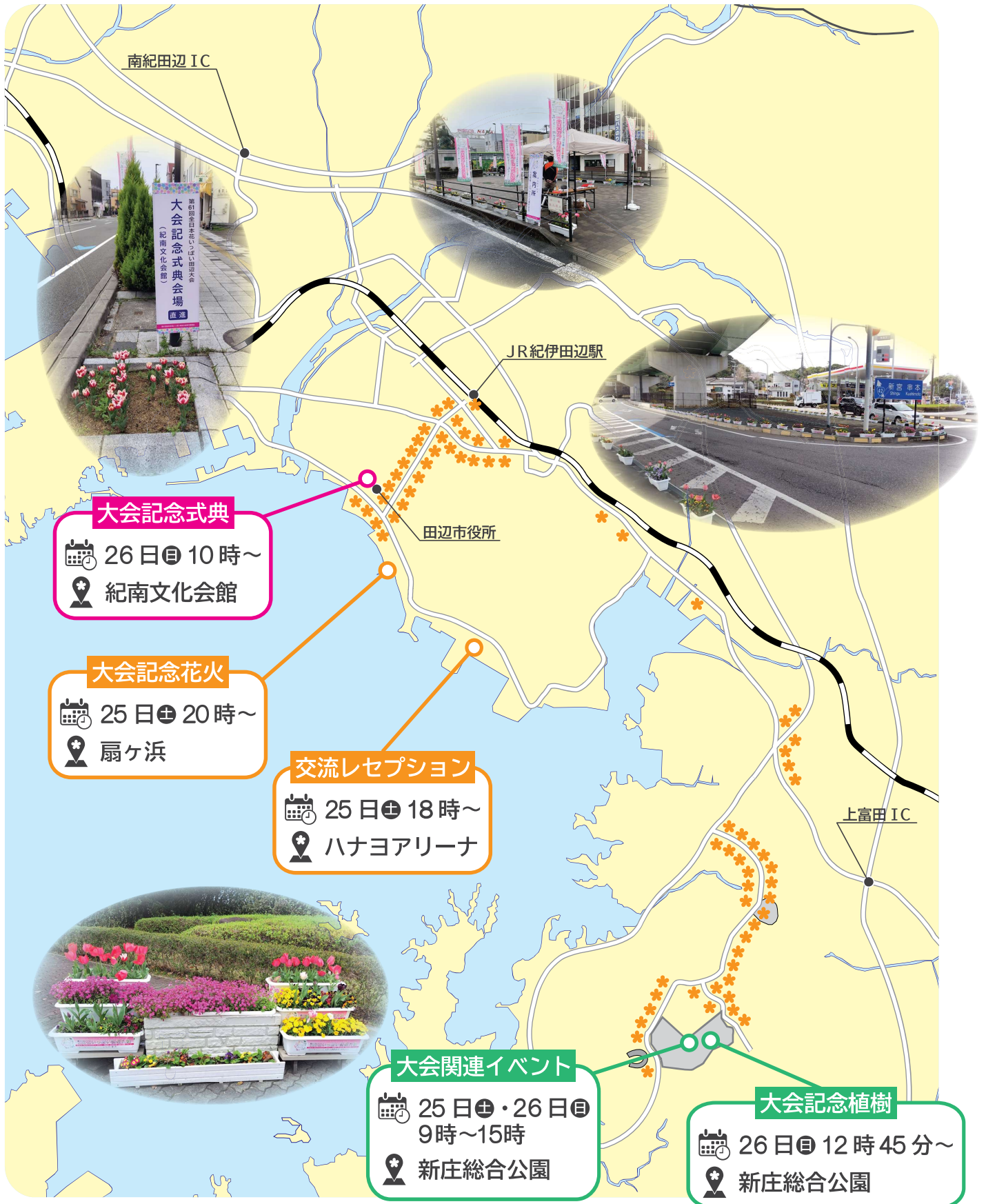


色とりどりの花をたくさん散りばめて、小松一三夢先生の「花を通じて人々の気持ちを豊かにする」という願いを込めました。田辺市の花「梅」をモチーフに、花が一面に広がっている美しさをカラフルな配色で表現するとともに、田辺市に広く生息するメジロを加えて、田辺大会らしさを出しています。

浅澤 祐里さん(東京都在住、デザイナー)

大会期間 令和5年3月25日(土)・26日(日)

※市内の歓迎装飾期間 令和5年3月17日(金)～26日(日)
(マップ上の✿マーク部分)



交流レセプション

日時 令和5年3月25日(土) 18時～20時

場所 ガーデンホテルハナヨ ハナヨアリーナ



ハナヨアリーナ

オープニングアトラクション

秋津川炭琴サークル(炭琴演奏)

歓迎のあいさつ

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長 真砂 充敏(田辺市長)

祝辞

前回開催都市 渡具知 武豊 名護市長

乾杯

全日本花いっぱい連盟 会長 臥雲 義尚(松本市長)

アトラクション

黒潮市場(マグロ解体ショー)

歓談

花団体PRタイム

- ・小平市緑と花いっぱい運動の会(東京都小平市)
- ・街を花いっぱいにする会(長野県松本市)
- ・姫路花銀行(兵庫県姫路市)
- ・行橋市花とみどりの会(福岡県行橋市)
- ・花の里づくりの会(沖縄県名護市)
- ・NPO法人花つぼみ(和歌山県田辺市)

アトラクション

弁慶鬼若太鼓保存会(和太鼓演奏)

閉会のあいさつ

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 副会長 北田 健治(田辺市議会議員)

大会記念花火(ウェルカム花火)

約800発の打上花火



司会 風尾 彩花
(テレビ和歌山アナウンサー)



おもてなしブース



田辺市の銘菓や特産物の試食試飲サービス



観光案内だけではなく二次会の案内まで
対応するツアーデスク



試食試飲したものを購入可能



取扱品の一部



梅酒の飲み比べができる梅酒バー



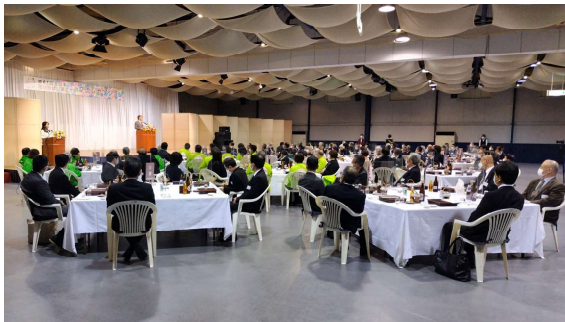
司会進行 風尾 彩花
(テレビ和歌山アナウンサー)



【オープニングアトラクション】
秋津川炭琴サークルのみなさんによる炭琴の演奏



特産である紀州備長炭を生かした楽器
「炭琴」澄んだ音色がします



111名の方が参加されました



【歓迎のあいさつ】
第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長
真砂 充敏 (田辺市長)



【祝辞】 前回開催都市
渡具知 武豊 名護市長



【乾杯】 全日本花いっぱい連盟 会長
臥雲 義尚 (松本市長)



市条例に基づき梅酒や梅ジュースで乾杯
「田辺市紀州梅酒による乾杯及び梅干しの普及に関する条例」



【アトラクション】
黒潮市場によるマグロの解体ショー



クロマグロの登場に盛り上がる会場



当日朝、串本で水揚げされた『よしだ本鮪®』
※プレミア和歌山に認定されているブランドマグロ



マグロを解体しながら部位等を説明



交流レセプション



お寿司とお刺身で提供



世界文化遺産に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」にちなみ
滝尻王子から順にそれぞれの王子の名称をテーブル名としました



歓談の様子



歓談の様子



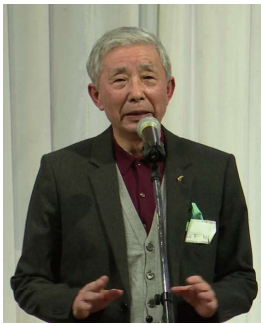
【各団体PRタイム】
小平市緑と花いっぱい運動の会(東京都小平市)



小平市緑と花いっぱい運動の会
馬場 英夫 会長



街を花いっぱいにする会
春日 孝介 副会長



姫路花銀行
山下 紀年 会長



姫路花銀行(兵庫県姫路市)



街を花いっぱいにする会(長野県松本市)

交流レセプション・大会記念花火



行橋市花とみどりの会(福岡県行橋市)



行橋市花とみどりの会
南 明美 副会長



花の里づくりの会(沖縄県名護市)



NPO法人花つぼみ(和歌山県田辺市)



NPO法人花つぼみ
古守 一晶 理事長



花の里づくりの会
儀保 充 会長



【アトラクション】弁慶鬼若太鼓保存会のみなさんによる和太鼓の演奏



迫力のある演奏に盛り上がる会場



【閉会のあいさつ】



第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 副会長
北田 健治 (田辺市議会議長)



【大会記念花火(ウェルカム花火)】
会場を隣接の漁港施設に移し、花火を鑑賞



約800発(約10分間)の花火が夜空を
彩りました



大会記念式典

日時 令和5年3月26日(日) 10時～11時30分

場所 紀南文化会館 大ホール

開会 司会進行 風尾 彩花(テレビ和歌山アナウンサー)

オープニングアトラクション

奥熊野太鼓(和太鼓演奏)

田辺市紹介映像



紀南文化会館

主催者あいさつ

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長 真砂 充敏(田辺市長)

全日本花いっぱい連盟 会長 臥雲 義尚(松本市長)

ご来賓祝辞

渡具知 武豊 名護市長(前回開催都市)

岸本 周平 和歌山県知事

二階 俊博 衆議院議員(和歌山県花を愛する県民の集い 会長)

浮島 とも子 衆議院議員

鶴保 庸介 参議院議員

ご来賓及び主催者紹介

上記に加え

【ご来賓】

石田 真敏 衆議院議員(代理 秘書 今西 康仁 様)

世耕 弘成 参議員議員(代理 秘書 奥山 正継 様)

鈴木 太雄 和歌山県議会議員

谷口 和樹 和歌山県議会議員

鈴木 徳久 和歌山県議会議員

三浦 源吾 御坊市長

岸本 健 紀の川市長

小谷 芳正 みなべ町長

井潤 誠 白浜町長

奥田 誠 上富田町長

【主催者】

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会

副会長 北田 健治(田辺市議会議員)

副会長 林 誠一(田辺市副市長)

副会長 木村 晃和(田辺市副市長)

副会長 佐武 正章(田辺市教育長)

副会長 古守 一晶(NPO法人花つぼみ理事長)

祝電披露

令和3年度 全日本花いっぱい連盟功労表彰（プレゼンター：臥雲 義尚 会長）

向野 義則 様

一般社団法人 日本ハンギングバスケット協会 長野県支部

深津 るり子 様

NPO法人花つぼみ

宝来町花の会

古尾花の会

下村花の会

神子浜町内会

中村 克彦 様

大会ロゴデザイン表彰（以下、プレゼンター：真砂 充敏 会長）

浅澤 祐里 様

花いっぱいコンテスト表彰

【写真部門：中高生の部】最優秀賞 上田 菜月 様

【写真部門：一般の部】最優秀賞 山本 佳寛 様

【押し花部門：小学生以下の部】最優秀賞 吉田 華奏 様

【押し花部門：一般の部】最優秀賞 廣田 みや子 様

【モザイクアート部門：中高生の部】最優秀賞 鷹巣 由奈 様

ガーデニングコンテスト表彰

最優秀賞 由井 佳美 様

大会旗返還

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長 真砂 充敏（田辺市長）

全日本花いっぱい連盟 会長 臥雲 義尚（松本市長）

閉会の辞

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 副会長 北田 健治（田辺市議会議員）

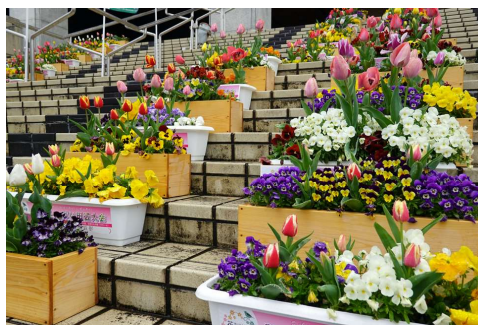
エンディングアトラクション

トモジャズダンススタジオ（キッズダンスパフォーマンス）

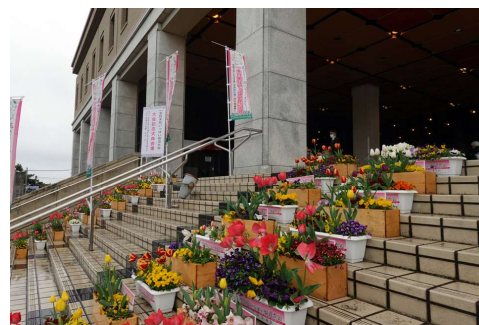
閉会



会場周辺を彩る花プランター



花いっぱいサポーターのみなさんが
育てました



一部のプランターは、ヒノキ材を使用した
木製プランター

大会記念式典



平安衣装をまとったスタッフと記念撮影



受付



祝電・メッセージ



おもてなしブースとツアーデスク



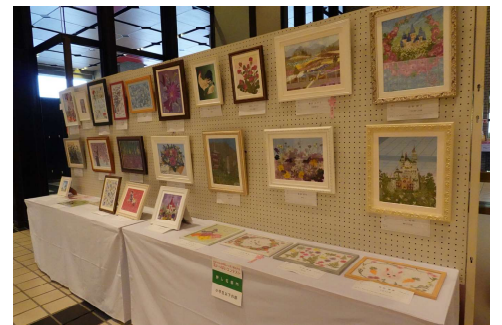
地域産品を販売



クローク



実行委員会主催「花いっぱいコンテスト」の作品展示



押し花部門(全28作品)



写真部門(全41作品)



モザイクアート部門(全161作品)



参加者受付の様子



胸花はダリアの生花



来賓・主催者の胸花



約600名の方が参加されました



会場客席の様子



来場者には大会記念品を
配付しました

大会記念品

大会記念式典参加者には、大会記念品を配付しました。県外から参加される皆さまの思い出となるよう地域の特産品をご用意しました（記念品の一部は、花いっぱいサポーターによる協賛品）。

内容物

大会パンフレット、観光パンフレット、花の種、紀州てまり、龍神杉のコースター
紀州備長炭の箸置き、梅ジュース、一粒梅干し、オリジナル紙袋、花の苗



内容物



オリジナル紙袋
(表)



一粒梅干し
(協賛：紀州田辺梅干協働組合)



龍神杉のコースター



紀州備長炭の
箸置き



紀州てまり
(協賛：紀州てまり趣味の会)

大会記念式典



開会とともに
高らかに鳴り響く法螺貝の音



【オープニングアトラクション】奥熊野太鼓のみなさんによる和太鼓の演奏



迫力のある力強い演奏



【田辺市紹介映像】



司会進行 風尾 彩花
(テレビ和歌山アナウンサー)



大会記念式典のステージ



【主催者あいさつ】
第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長 真砂 充敏 (田辺市長)



【主催者あいさつ】
全日本花いっぱい連盟 会長 臥雲 義尚 (松本市長)



【来賓祝辞】
渡具知 武豊 名護市長
(前回開催都市)



【来賓祝辞】
岸本 周平 和歌山県知事



【来賓祝辞】
二階 俊博 衆議院議員
(和歌山県花を愛する県民の集い 会長)



【来賓祝辞】
浮島 とも子 衆議院議員



【来賓祝辞】
鶴保 庸介 参議院議員



【令和3年度 全日本花いっぱい連盟功労表彰】



向野 義則 様
(東京都小平市)



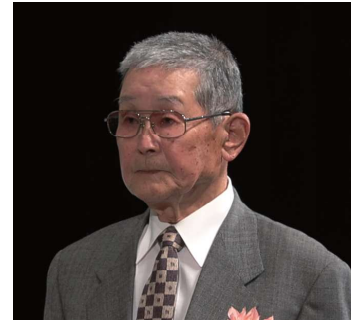
日本ハンギングバスケット協会 長野県支部
岩本 真美 支部長 (長野県松本市)



深津 るり子 様
(兵庫県姫路市)



NPO法人花つぼみ (和歌山県田辺市)
古守 一晶 理事長



宝来町花の会 (和歌山県田辺市)
山本 馨 会長



古尾花の会 (和歌山県田辺市)
細野 康治 会長



下村花の会 (和歌山県田辺市)
宮本 正信 会長



神子浜町内会 (和歌山県田辺市)
泉 房次朗 会長



中村 克彦 様
(福岡県行橋市)



臥雲会長より賞状が授与されました



【大会ロゴデザイン表彰】



真砂会長より賞状が授与されました



大会ロゴデザイン
浅澤 祐里 様



【花いっぱいコンテスト表彰】



写真部門 (中高生の部)
上田 菜月 様



大会記念式典



写真部門（一般の部）
山本 佳寛 様



押し花部門（小学生以下の部）
吉田 華奏 様



押し花部門（一般の部）
廣田 みや子 様



モザイクアート部門（中高生の部）
鷹巣 由奈 様



【ガーデニングコンテスト表彰】
由井 佳美 様



【大会旗返還】



真砂会長から臥雲会長に大会旗が返還されました



【閉会のあいさつ】



第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会副会長 北田 健治（田辺市議会議長）



【エンディングアトラクション】



トモジャズダンススタジオのみなさんによる
キッズダンスパフォーマンス



春チームのみなさん



「花」をイメージした音楽や映像



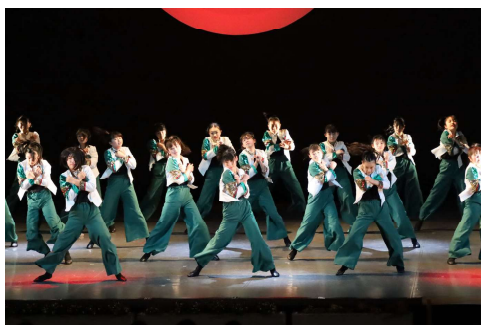
夏チームのみなさん



秋チームのみなさん



冬チームのみなさん



3歳から中学3年生の男女、総勢107名によるパフォーマンスにより
大会記念式典が締めくくられました



記念植樹・記念モニュメント披露

日時 令和5年3月26日(日) 12時45分～13時

場所 新庄総合公園 レガシーエリア

開会 司会進行 風尾 彩花(テレビ和歌山アナウンサー)

主催者あいさつ

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長 真砂 充敏(田辺市長)

植樹者紹介

渡具知 武豊 名護市長(前回開催都市)

岸本 周平 和歌山県知事

二階 俊博 和歌山県花を愛する県民の集い 会長

全日本花いっぱい連盟 会長 臥雲 義尚(松本市長)

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長 真砂 充敏(田辺市長)

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 副会長 北田 健治(田辺市議会議長)

記念撮影

植樹 クマノザクラ※

※平成30年に新種と判断された紀伊半島南部を中心に分布する野生種のサクラ



写真提供：和歌山県林業試験場

記念モニュメントの披露(テープカット)

渡具知 武豊 名護市長

全日本花いっぱい連盟 会長 臥雲 義尚(松本市長)

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長 真砂 充敏(田辺市長)

記念モニュメントの紹介

チェンソーアート・ジャパン 城所 ケイジ 様

閉会



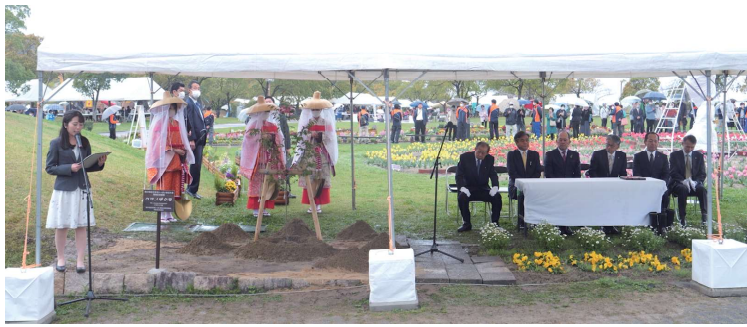
大会記念植樹会場となる
新庄総合公園 レガシーエリア



円形花壇では市内私立幼稚園の園児のみなさんが植えた
11種類、約4,500本のチューリップが見ごろ



花壇中央にはベールに包まれた
大会記念モニュメント



大会記念植樹会場



【主催者あいさつ】

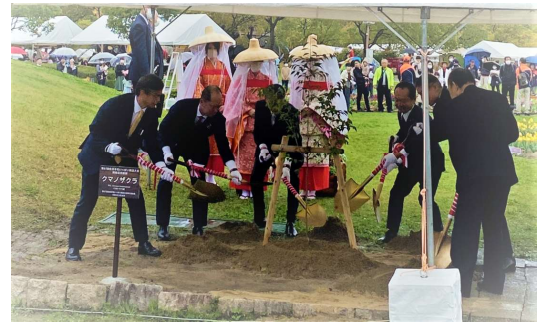
第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 会長 真砂 充敏 (田辺市長)



記念樹プレート



クマノザクラ (樹高約 1.7m)



【植樹】



【記念モニュメントの披露 (テープカット)】



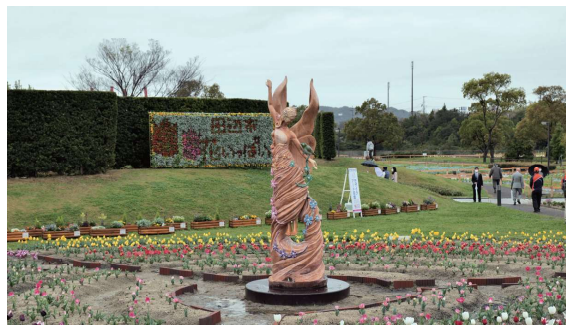
制作者の
城所 ケイジ 様



スタッフによりベールが取り払われ
姿を現すモニュメント



花とみどりの妖精



ドレスに大会ロゴの意匠が散りばめられ
左手には市鳥であるメジロがとまっている



大会記念樹と記念モニュメントの
説明を記した銘板



直径 1 m 以上の紀州杉材 (樹齢約 200 年) から制作 (制作時間: 約 100 時間)

大会記念モニュメントコンセプト

花とみどりの妖精が「花いっぱい運動」を未来へつないでいきます。妖精と手をつないで、花いっぱいの思いを未来に結びましょう。また、モニュメント本体は、大会ロゴの意匠が散りばめられ、第61回大会にちなみ「61」を表す形となっています。

城所 ケイジ

大会関連イベント

日時 令和5年3月25日(土)・26日(日) 9時～15時

場所 新庄総合公園

『雑賀清子展 - 草花によせる -』



フラワーバルーンや生花で彩られた
歓迎ゲート



モザイクアート花壇



花いっぱいコンテスト
モザイクアート部門最優秀賞作品を再現



あかね材を使用したフォトフレーム
協賛：田辺ライオンズクラブ



歓迎装飾



フォトスポット

花いっぱい横丁

田辺市の魅力あふれる特産品やフード・ドリンクの販売、体験ワークショップ、観光PR、各種展示が並びました。

《テントブース》

HANADAI、西牟婁地方4Hクラブ連絡協議会、産直市場よってって、和歌山南漁協湊浦女性部、西牟婁地方農業士会連絡協議会女性部会、紀南農業協同組合、田辺生活研究グループ、女性林研部会、林野庁和歌山森林管理署、田辺市木炭生産者組合、大塔観光協会、菓匠二宮、Pine、株式会社きてら、カレーのれんが屋、喫茶みねちゃん、立ち呑みたこやきゆうじ、居酒屋かっぽうたか木、紀州焼肉白と黒、ベトナムカフェレストランコムコム、商品開発プロジェクト「神島屋」、和歌山県花を愛する県民の集い、新庄漁業協同組合、FM TANABE、龍の里づくり委員会、四村川活性化委員会、中辺路観光協会、紀州梅の里なかた(中田食品株式会社)

《キッチンカーゾーン》

もんぺとくわ、ゆいむん、キッチンスー、まろ蛸、熊野くるり、かまてんバーガー、Sky kitchen、田辺ダイハツ販売株式会社、アンベロッペ



新庄漁業協同組合(焼牡蠣)

商品開発プロジェクト「神島屋」
(梅やきとり・梅あられ)

産直市場よってって (いちご・晩柑類)



田辺市木炭生産者組合 (紀州備長炭)

林野庁和歌山森林管理署
(苔テラリウム作成体験)

女性林研部会
(椎茸・花木・ハチミツのリップクリーム)

中辺路観光協会 (観光PR)

紀州焼肉白と黒 (焼肉丼・牛タン焼)

西牟婁地方4Hクラブ連絡協議会
(梅塩フライドポテト・コーヒー)

大会関連イベント



龍の里づくり委員会（地域産品）



ゆいむん
(沖縄そば・サターアングギー)



まろ蛸（たこ焼き）



アンベロッパ
(クレープ・タピオカドリンク)



案内看板



休憩所



田辺市立美術館
『雑賀清子展-草花によせる-』

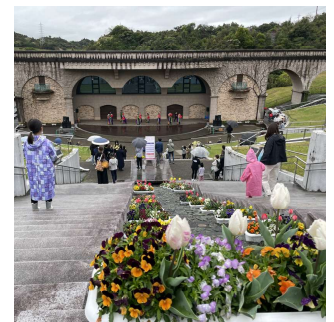
ステージイベント

ミュージックパーク・たなべ(野外音楽堂)では、地域で活動する団体によるステージイベントを開催しました。〔3月26日のみ〕

紀州龍神、いきいきシニア田辺、夢幻、T. J. Sフリーキッズ、弁慶鬼若太鼓保存会、ヤングスマイル アガラ Aloha Puuwai O Hula、テトテ、熊野高等学校 Kumanoサポーターズリーダー チェンソーアート・ジャパン、田辺高等学校応援團



紀州龍神(よさこい)





いきいきシニア田辺 (リズム体操)



司会は『きよちゃん』こと
山下 博美さん



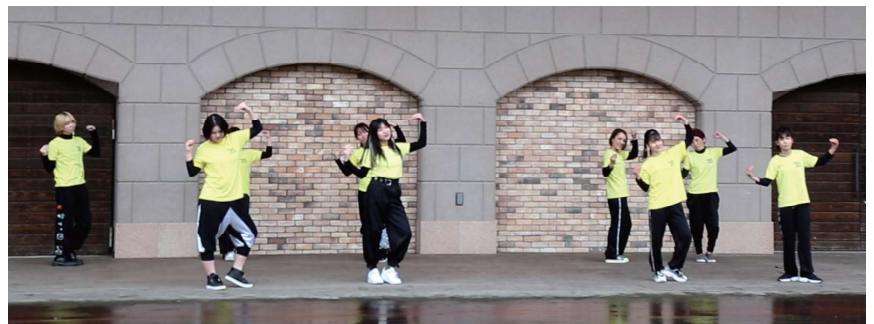
夢幻(よさこい)



T. J. S フリーキッズ(ダンス)



弁慶鬼若太鼓保存会 (和太鼓)



ヤングスマイル アガラ(ダンス)



Aloha Puuwai O Hula(フラダンス)



テトテ(手話ダンス)



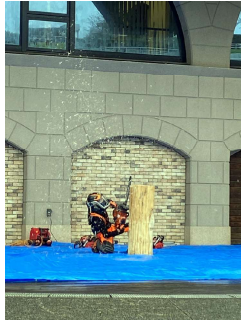
大会関連イベント



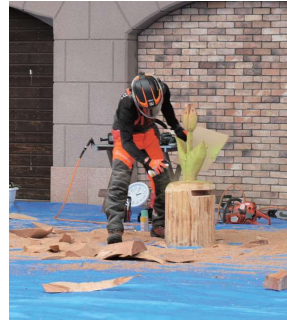
熊野高等学校Kumanoサポーターズリーダー
(ダンス)



チェーンソーアート・ジャパン
(カービングショー)



舞いあがる木の粉



その場で塗装



完成したベンチは園内の
東屋へ設置



田辺高等学校応援団(応援団演舞・チアリーディング)



田辺高等学校応援団による「田辺が大将」が花いっぱい田辺大会のフィナーレとなりました



大会ロゴコンテスト

田辺大会の開催にあたり、本大会をPRするためのロゴデザインを募集し、浅澤祐里さんの作品に決定しました。

募集期間 令和3年3月12日(金)～令和3年5月13日(木)

応募総数 285作品(応募者数208名)

審査方法 事務局による一次審査の後、企画運営委員会委員34名による投票

決定 第3回実行委員会で承認(令和3年7月28日)



決定した大会ロゴ(詳細は4ページ)



一次審査の様子



ポスターや啓発物品には、大会ロゴをあしらっています。

花いっぱいサポーター

市民運動の一環として、花いっぱいサポーター(協賛型・花育型)を募集し、市内の事業所・団体、市民の皆さんと協働で、大会機運の醸成を図りました。

【協賛型】

協賛金(一口1万円から)、協賛物品(大会記念品等)を募りました。サポーターのみなさまは、39ページに掲載しています。

募集期間 令和4年4月1日(金)～令和5年2月28日(火)

対象 事業所・団体、個人

【花育型(歓迎装飾・地域啓発)】

大会会場及び市内を彩る歓迎装飾用花プランターを作成していただく方を募りました。サポーターのみなさまは、40ページに掲載しています。そのほか、地域啓発型として422名の方に花ポットを作成していただき、各地域で大会開催を広く周知していただきました。

募集期間 令和4年11月1日(火)～令和4年12月16日(金)

対象 事業所・団体、個人 ※町内会、幼保、小中学校等の団体を含む

キックオフイベント

開催1年前イベントとして、NPO法人花つぼみ主催の「花まつり」に合わせ、キックオフイベントを開催しました。

日時 令和4年3月27日(日) 10時～16時

場所 新庄総合公園



【カウントダウンボード除幕式】
実行委員会の真砂会長のあいさつ



真砂会長(田辺市長)、古守副会長(NPO
法人花つぼみ理事長)による除幕



チューリップが満開でした。



キッチンカーも出店し、にぎわいました。



モザイクアート花壇で使用した花苗は、イベント終了後、来場者に配布しました。



モザイクアート花壇で使用した花苗は、イベント終了後、来場者に配布しました。

3月21日、「花まつり」に向け、約60名の方が参加し、新庄総合公園の花壇の手入れとモザイクアート花壇の作成を行いました。ジュリアンやパンジーなど576個のポット苗を用いて「左：梅の花、右：HANA IPPAI 2022」を表現しています。



広報啓発活動（啓発グッズ・啓発看板）

大会啓発を目的として、チラシやポスターなどの印刷物、のぼりや花の種、軍手などの啓発グッズ、オリジナルポロシャツを作成し、市内で行われた様々なイベントにおいて、配布（ポロシャツは販売）を行い、大会開催を広くPRしました。



大会ホームページ ▲

また、市広報紙への掲載、各種報道への情報提供や新聞広告といった従来の広報手法に加え、大会HPや動画共有サイト「YouTube」の大会公式チャンネルへのプロモーション動画等の投稿を行うなど、インターネットを利用したPRにも力を入れました。



YouTube大会公式チャンネル ▲



花とこどものフェスティバルにて



オリジナルポロシャツ(全9色)



花の種(全12種類)



関係団体の会議等に参加し大会をPR



コスモまつり(ガーデニングコンテスト)にて



のぼり



新庄総合公園啓発看板



JR 紀伊田辺駅懸垂幕



フォトフレーム



軍手(2サイズ)



大塔行政局横断幕



歓迎装飾用花プランター

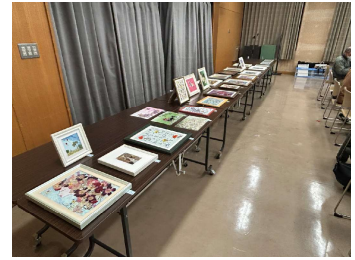


田辺市役所前看板

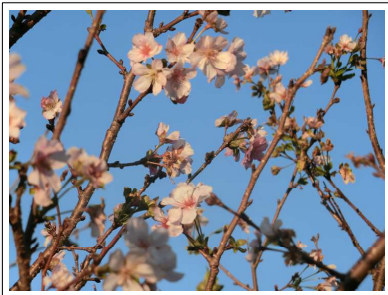
花いっぱいコンテスト

花を主題にしたコンテストを以下のとおり開催しました。

- 応募期間 令和4年8月1日～令和4年11月30日
- 応募対象 県内に在住・在勤・在学の方
- 募集部門 写真、押し花、モザイクアート
〔小学生以下の部、中高生の部、一般の部〕
- 審査方法 企画運営委員会にて審査



写真部門(中高生の部)



最優秀賞「秋の早とちり桜」
上田 菜月さん(南部中学校2年)



優秀賞「桃色に美しく咲いた桜」
中井 千晴さん(南部中学校2年)

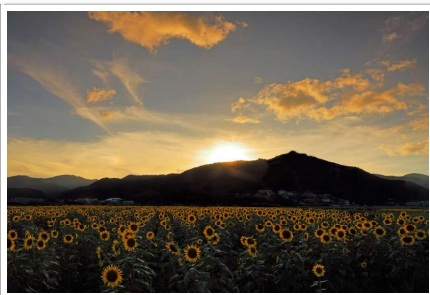


優秀賞「きれいな花」
中島 若菜さん(南部中学校2年)

写真部門(一般の部)



最優秀賞「白崎海岸のひまわり」
山本 佳寛さん(田辺市)



優秀賞「黄昏のヒマワリ」
山下 義朗さん(田辺市)



優秀賞「新庄公園」
南 真次さん(古座川町)

押し花部門(一般の部)



最優秀賞「お花畑の丘」
廣田 みや子さん(田辺市)



優秀賞「恋する女の子」
舛岡 英子さん(田辺市)



優秀賞「さくら」
浜本 節子さん(田辺市)

押し花部門(小学生以下の部)



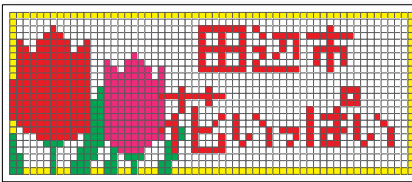
最優秀賞「クリスマスリース」
吉田 華奏さん(田辺第二小学校2年)

コンテスト応募結果

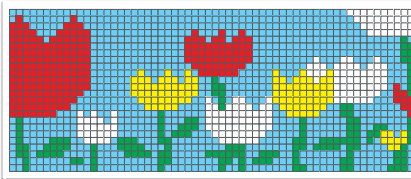
部門	部	応募者数	応募作品数
写真	中高生	4	5
	一般	14	36
押し花	小学生以下	1	3
	一般	11	25
モザイクアート	中高生	161	161

※ 応募がなかった部については、省略

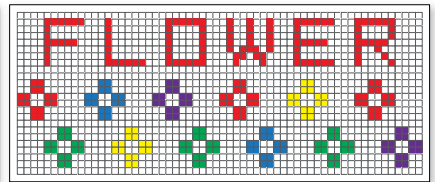
モザイクアート部門(中高生の部)



最優秀賞「田辺市と花」
鷹巣 由奈さん(高雄中学校3年)



優秀賞「春」
阿部 桜歌さん(東陽中学校3年)



優秀賞「花畑」
佐伯 誠弥さん(東陽中学校3年)

ガーデニングコンテスト

花と緑のデザイン・演出等を創意工夫し、木製プランター内にひとつの庭を作り上げる表現力をアピールするコンテストを開催しました。

- 制作期間 令和4年10月29・30日、11月26日・27日
- 展示場所 新庄総合公園
- 参加者数 140名
- 審査方法 審査期間(12月1日～23日)中における公園来場者による投票制



最優秀賞
由井 佳美さん(田辺市)

優秀賞(14作品)



山本 幸子さん(田辺市)



中村 優子さん(田辺市)



宮脇 真規子さん(田辺市)



森 恵さん(みなべ町)



森山 幸代さん(田辺市)



橋本 啓子さん(田辺市)



北崎 大翔さん(白鷹第一小学校4年)



小林 一美さん(田辺市)



沖 孝之さん(田辺市)



浅井 颯太さん(新庄第二小学校2年)



酒井 芯さん(鮎川小学校3年)



林 省吾さん(田辺東部小学校6年)



山崎 真弓さん(田辺市)



西澤 千恵子さん(田辺市)

花いっぱい講習会

季節の花を題材に様々なアレンジ手法を学ぶ「花いっぱい講習会」を5つのテーマで開催しました。各回、定員10名に対し、多くの方から応募があり、大人気の講習会でした。

第1回(令和4年7月3日)
『夏の花を使ったフラワーアレンジメント』
堀籠 大樹 先生(HANADAI)



第2回(令和4年9月4日)
『ドライフラワーのスワッグ』
堀籠 大樹 先生(HANADAI)



第3回(令和4年11月27日)
『クリスマスリース』
大洞 賀佳子 先生(Lele)



第4回(令和4年12月25日)
『しめ縄リース』
大洞 賀佳子 先生(Lele)



第5回(令和5年2月26日)
『ミモザのスワッグ』
大洞 賀佳子 先生(Lele)



レガシーエリア

この大会を契機に高まった機運を一過性のものにしないよう、大会に向けて、新庄総合公園内に新たに造成した円形花壇を「レガシー*エリア」とし、大会後も花いっぱい運動の理念を実践し市民が参画できるエリアとします。令和4年度は、秋にコスモスの苗を、冬には大会に向けてチューリップの球根を市内の幼稚園児に植えていただきました。

円形花壇中央には記念モニュメントを設置し、花壇脇には記念樹(クマノザクラ)を植えました。

※レガシー：直訳は「遺産」ですが、ここでは『次の世代へ受け継ぐもの』としています。



参加してくれた園児のみなさん

昭和幼稚園

シオン幼稚園

うえのやま学園

立正幼稚園

NUKU森の丘こども園

田辺市の花づくり活動団体の紹介

NPO法人花つぼみ〔市内全域〕



新庄総合公園をはじめ市内の公園や国道、県道沿いの花壇を整備するなど、田辺市の花いっぱい運動グループの中心的な役割を担っている。春と秋には、新庄総合公園において、「花まつり」を開催し、多くの市民や観光客でにぎわっている。

田辺駅花サークル〔湊〕



田辺市の玄関口、JR 紀伊田辺駅の前で、通勤通学の方の心を和ませるとともに、観光で訪れた方に「花でのおもてなし」を心がけている。熊野古道を歩きに来られる外国の方なども田辺駅を多く利用されるので、花いっぱいのまちを強く印象づける花壇を作成している。

田辺大通り花の会〔新屋敷町〕



JR紀伊田辺駅から、扇ヶ浜、市役所までの大通りにある大小合わせて約60の花壇を管理している。地元の方に楽しんでいただくのはもちろんのこと、観光で訪れる多くの方に、「またこのまちに来たい」と思っていただけのように、気合いを入れて花壇の手入れをしている。

301花の会〔新屋敷町〕



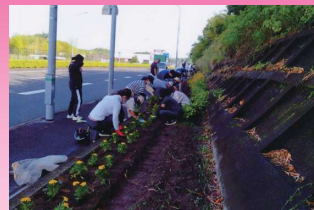
雨が降らないときには、近所の方の御協力もいただきながら、水やりをし、大切に管理している。市役所、公園の近くにある花壇なので、人通りも多く、作業をしていると「ご苦労様」等、声をかけてくださる方もたくさんいる。

神子浜町内会〔神子浜〕



小・中・高校生の通学路で、作業をしていると、子どもたちが元気に挨拶してくれたり、通りがかりの方から「きれいですね」と声をかけていただいたりするのが嬉しく、また、地元の中学生の皆さんと一緒に植えた花が大きくなり、植えたときの笑顔が浮かんで来て、管理にも力が入る。

一般社団法人 和歌山県建築士会田辺支部〔新庄町〕



主に、国道42号線沿いの花壇で作業をしている。花づくりの活動は、建築士会のメンバーが集まり、街づくり、地域づくりに貢献し、また、メンバー同士が交流する機会にもなっている。夏になると白浜への観光で大変混雑する国道沿いにあるため、長旅のドライバーさんにとって癒やしの風景となるよう管理している。また、通る方を花でお出迎えし、「花の田辺市」をアピールしている。

田鶴口花の会〔新庄町〕



新庄町田鶴の交差点にあるおよそ1,000㎡の花壇で、毎月1回、植栽や、雑草抜き、花がら摘みなどの作業

をしている。親子での参加も多く、子どもたちも楽しく作業をしている。命の大切さや優しい気持ちを育む、素晴らしい経験をしている。車で白浜に向かう観光の方の目に留まる花壇で、花の田辺市をアピールすべく、意識して作業をしている。

内之浦湾を良くする会〔新庄町〕



「たなべ・うちのうらの海の駅」の駐車場にある花壇を管理している。田辺市を訪れる方々を、花でおもてなしするため、草引きの作業などを毎週欠かさずに行っている。

南和歌山医療センター〔たきない町〕



来院された方に和んでいただけるような美しい花壇を意識して作っている。作業を行っている、「いつもきれいにしていますね」「癒やされます」と声をかけていただける。

南新万町内会〔南新万〕



町内会と子供会で、毎月作業を行っている。夏場は、毎日散水し、夏休み中は子供会の上級生が夕方、行っている。希望者には、プランターを配布し、町内会から年2回花の苗を支給し、家庭でも花づくりを楽しんでもらう活動も行っている。花を通じ、世代を超えた交流が広がっている。

新万花の会 Y S P 田辺〔新万〕



住宅街、学校の通学路にある花壇を整備している。周辺は、散歩される方も多く、また、桜並木が大変きれいで、チューリップとの景色をバックに写真を撮られる方も多い。

宝来町内会〔宝来町〕



毎月1回、町内放送で呼びかけを行い、作業をしている。作業日には飲み物の差し入れをいただいたり、作業日以外にも気づいた人が草抜きや花がら摘みをしたりと、地域に根差した活動となっている。

中屋敷花いっぱい会〔中屋敷町〕



たくさんの方が立ち止まって花を楽しまれる田辺郵便局横の花壇を管理している。作業には、お子さんたちや父兄の方も参加されるので、町内の交流の場となっている。

上屋敷町内会〔上屋敷〕



毎朝こまめに草引きや花がら摘みをしている。扇ヶ浜の近くで、観光客の方も歩くルートにあるので、明るくおしゃれな花壇を意識して、日々の作業を行っている。

戎一本釣り花の会〔上屋敷〕



波止場に近い花壇なので、作業中に、魚釣りの方などに「きれいやなあ。お疲れ様。」と声をかけていただくことが多い。花で会話がはずむ。

古尾花の会〔古尾〕



稲成川沿いの300mの長い花壇を管理している。チューリップが咲き誇る時期には、写真を撮る方が次々と来られる。花植えは年に2回、草引きなどの手入れは毎日している。夏の「松葉ボタン」は、いろんな花グループに分け合い、他のグループとの交流もひろがっている。

田辺市の花づくり活動団体の紹介

古尾花を愛する会〔古尾〕



町内の真ん中にある「憩いの広場」の花壇の管理をしている。毎日誰かが訪れており、自然と人が集まり、楽しく手入れをするなど、町内の憩いの場となっている。ここで開催する「花祭り」には多くの人が集まる。花づくりで培われた団結力が、活気のある地域づくりにつながっている。

古尾坂花の会〔古尾〕



小学校近くにあり、子供さんたちの見守りも兼ねて、通学の時間帯に合わせて作業をしている。「空き地があったら花壇にしよう！」と、他のグループにも力を借りて、新しい花壇も作っている。

古尾美しくする会〔古尾〕



稲成川沿いのポイ捨ての多い場所に花壇を作ってから、ゴミがなくなった。他のグループの皆さんとともに、花いっぱい運動を広げていきたい。

下村花の会〔稲成町〕



町内会、子供会のメンバーで活動している。12月にはレイアウトを考えながら、たくさんのチューリップを植え、子どもも大人も、わくわくしながら春を待つ。チューリップが開くと、すぐ近くの大型店舗の行き帰りに立ち寄られる方も多く、名所となっている。

高山寺花の会〔稲成町〕



南方熊楠や植芝盛平のお墓のある、高山寺の入口にある花壇を管理している。夏休みには、中学生が作業に参加してくれることもある。交通量の多い道沿いにあるので、たくさんの方々の目を楽しませている。

むつみ町内会〔むつみ〕



地域の憩いの場である「むつみ第1公園」の花壇を管理している。四季折々の花を植栽することで、地区内の住民だけでなく、訪れる人々の目を楽しませている。花づくりを通じて町内会活動の活性化を図っている。

上の山花グループ〔上の山〕



国道沿いで、田辺スポーツパークや警察署などが近くにある、通るドライバーの方々の目を楽しませている。近くの小学校の子どもたちも作業を手伝ってくれ、子どもたちと地域との接点になっている。

西郷老人会〔上の山〕



県道田辺港線に面した沿道の一角と、元町長寿館の花壇の管理をしている。交通量の多い道沿いにあるため、地区内の住民だけでなく、通行する人々の目を楽しませている。

シーサイド天神崎自治会ブーケの会〔目良〕



子供会の皆さんと一緒に植え替えをしたり、作業中、通りがかりの方に、美しく咲いた花について声をかけていただいたり、交流の場にもなっている。

田辺市立明洋中学校育友会〔目良〕



生徒と育友会のメンバーで植栽や除草作業を行っている。朝の1～2時間の作業の際に、通りかかった方から、「がんばってるね」などと声をかけていただき、生徒たちにとって、良い経験となっている。

中芳養田尻花サークル〔中芳養〕



県道上富田南部線沿いにある2つの花壇を管理している。みなべ町との境界に位置しているので「ようこそ田辺市へ」というメッセージを込めて、日々の手入れを行っている。

かがやきの会〔上芳養〕



作業は楽しく、ご近所の方や通りすがりの方から「いつもありがとう」「きれいやねえ」と声をかけていただいたり、花の話で盛り上がり、交流の場となっている。

その他多くの団体が花いっぱい運動を実践しています。紙面の都合上、団体名〔活動地区〕のみ記載します（敬称略・順不同）。

田辺銀座商店街女性会〔今福町〕

磯間町内会〔磯間〕

弓道場花の会〔目良〕

目良団地町内会〔目良〕

立戸花と仲間〔天神崎〕

田辺第三小学校学社融合推進協議会〔上の山〕

新万信号花の会〔新万〕

田辺東部小学校育友会〔南新万〕

芳養団地子供会〔芳養町〕

明洋花の会〔明洋〕

跡ノ浦長生会花クラブ〔新庄町〕

ひまわり日向花の会〔上芳養〕

花みずき会〔中芳養〕

田辺市みどりの少年団〔上秋津〕

上秋津子どもクラブ〔上秋津〕

長野子どもクラブ〔長野〕

はなみずき〔龍神村龍神〕

龍神郵便局「ホタル」〔龍神村龍神〕

龍神温泉〔龍神村龍神〕

小又川〔龍神村小又川〕

三ツ又を愛する会〔龍神村三ツ又〕

ありやす会〔龍神村湯ノ又〕

上宮代〔龍神村宮代〕

宮代下〔龍神村宮代〕

殿原〔龍神村殿原〕

亀畑〔龍神村殿原〕

銀河グループ〔龍神村殿原〕

川口フワークラブ〔龍神村東〕

中垣内ボランティアクラブ〔龍神村西〕

下村花グループ〔龍神村安井〕

龍神村障害者花の会〔龍神村柳瀬〕

柳瀬下区〔龍神村柳瀬〕

龍神村女性会〔龍神村福井〕

チームマダムフラワー〔龍神村福井〕

福井婦人会〔龍神村福井〕

甲斐ノ川本村フラワー愛好会〔龍神村甲斐ノ川〕

小家婦人会〔龍神村小家〕

有限会社谷口自動車〔鮎川〕

田辺市女性会連絡協議会本宮支部〔本宮町本宮〕

本宮くまのこ作業所〔本宮町本宮〕

令和3年度 全日本花いっぱい連盟功労表彰 受賞者

No.	団体名又は個人名	住所	推薦者	功労内容
1	前島 美佐子 <small>まえじま みさこ</small>	北海道 蘭越町	蘭越町 花いっぱいの会 会長 尾路 謙	多年にわたり、公共花壇の植込み作業に積極的に参加し環境美化運動を実践している。また、本会役員として会員の先頭に立ち、花いっぱい運動の推進に尽力している。
2	熊谷 利枝子 <small>くまがい りえこ</small>	〃	〃	多年にわたり、公共花壇の植込み作業に積極的に参加し環境美化運動を実践している。また、本会役員として会員の先頭に立ち、花いっぱい運動の推進に尽力している。
3	南造道町会 鶴賀 晃 <small>みなみつくりみちちようかい つるが あきら</small>	青森県 青森市	青森市緑と花のまちづくり 推進市民協議会 会長 齋藤 幸逸	長年にわたって国道4号町会沿いへの街路樹の植栽・維持管理を行い、花いっぱいのまちづくりに貢献している。
4	佃第三町会 若松 陽一 <small>つくだいさんちようかい わかまつ よういち</small>	〃	〃	長年にわたって明の星通り植樹樹への植栽・維持管理を行い、花いっぱいのまちづくりに貢献している。
5	橋本南第二町会 加藤 誕 <small>はしもとみなみだいにちようかい かとう ひろし</small>	〃	〃	長年にわたって遊歩道緑地への花だんの植栽・維持管理を行い、花いっぱいのまちづくりに貢献している。
6	大和ハウス 工業株式会社 青森支店 <small>だいわ</small>	〃	〃	毎年夏と秋に実施している花だんの植え付けに、事業所としてこれまで7年参加しており、花いっぱいのまちづくりに貢献している。
7	伊藤 千恵子 <small>いとう ちえこ</small>	〃	〃	協議会主催の講習会や緑花活動にこれまで通算32回参加しており、花いっぱいのまちづくりに貢献している。
8	畠山 幸男 <small>はたけやま ゆきお</small>	宮城県 気仙沼市	気仙沼市 緑化推進協議会 会長 気仙沼市長 菅原 茂	面瀬地区の緑化推進協議会役員として、「花のみち45」植栽活動や国道沿いにある花壇の維持管理等に長年積極的に携わり、周辺地域の緑化推進に多大なる貢献をしている。
9	中開発協議会 <small>なかかいはつきようざikai</small>	〃	〃	多年にわたり、県道沿いにある数ヶ所の花壇に花を植栽し、ドライバーを始め、地域の方々や観光客の目を楽しませ、地区の緑化に多大なる貢献をしている。
10	浦田自治会 <small>うらたじちかい</small>	〃	〃	長年にわたり、県道気仙沼唐桑線沿いにある数ヶ所の花壇を多くの花で彩り、付近を通行するの方々や地域住民に安らぎと癒しを与え、地区緑化や環境美化に多大なる貢献をしている。
11	小倉 可津 <small>おくら かつ</small>	埼玉県 川口市	川口市 緑と花いっぱいの会 会長 岩澤 勝徳	長年にわたり、本会役員として会員と共に、身近な緑化の推進や普及・啓発活動に取り組み、地域において熱心に活動を行い、会の運営に尽力している。
12	江原 文絵 <small>えはら ふみえ</small>	〃	〃	長年にわたり、本会役員として会員と共に、身近な緑化の推進や普及・啓発活動に取り組み、地域において熱心に活動を行い、会の運営に尽力している。
13	小川 とあ子 <small>おかわ こ</small>	東京都 小平市	小平市 緑と花いっぱい運動の会 会長 宮崎 照夫	多年にわたり、身近な緑化の推進と花をいっぱいにする運動に取り組み、本会会員として熱心に活動を行っている。
14	豊田 信子 <small>とよだ のぶこ</small>	〃	〃	多年にわたり、身近な緑化の推進と花をいっぱいにする運動に取り組み、本会会員として熱心に活動を行っている。

No.	団体名又は個人名	住 所	推 薦 者	功 勞 内 容
15	田中 稔 <small>たなか みのる</small>	東京都 小平市	小平市 緑と花いっぱい運動の会 会長 宮崎 照夫	多年にわたり、身近な緑化の推進と花をいっぱいにする運動に取り組み、本会会員として熱心に活動を行っている。
16	向野 義則 <small>むかの よしのり</small>	〃	〃	多年にわたり、身近な緑化の推進と花をいっぱいにする運動に取り組み、本会会員として熱心に活動を行っている。
17	福島 須美子 <small>ふくしま すみこ</small>	〃	〃	多年にわたり、身近な緑化の推進と花をいっぱいにする運動に取り組み、本会会員として熱心に活動を行っている。
18	笠谷 敏子 <small>かさたに としこ</small>	富山県 高岡市	高岡市花いっぱい連盟	平成 10 年頃より福田地区のグリーンキーパーとして活動し、プラグ苗の植栽をはじめ、町内花壇の植栽、管理、また福田地区公民館花壇の育成に参加し地域の美化、活性化に貢献している。
19	長澤 節子 <small>ながさわ せつこ</small>	〃	〃	平成 10 年頃より福田地区のグリーンキーパーとして活動し、プラグ苗の植栽をはじめ、町内花壇の植栽、管理、また福田地区公民館花壇の育成に参加し地域の美化、活性化に貢献している。
20	廣瀬 昌秀 <small>ひろせ まさひで</small>	〃	〃	平成 11 年から横田地方銀行のグリーンキーパーとして地域緑化の推進に尽力し、横田千石通りのプランターの管理、プラグ苗の育成、国道 8 号線沿い羽広交差点の花苗配布を通じて地域の緑化整備に貢献している。
21	大島 正夫 <small>おおしま まさお</small>	〃	〃	プラグ苗の育成に取り組み、地域のプランナー、花壇に植栽している。地元駅前広場にもプランターを設置し、緑化推進に努めている。平成 15 年からグリーンキーパー、令和 2 年から頭取として活躍している。
22	五味 秀彦 <small>ごみ ひでこ</small>	長野県 松本市	松本市街を花いっぱいにする会 会長 松本市長 臥雲 義尚	長年にわたり、花いっぱい花壇コンクールの審査員を務め、地域での花いっぱい運動を支え、花のあるきれいな街づくりに大きく貢献している。
23	枝 昌子 <small>えだ まさこ</small>	〃	〃	長年にわたり、花いっぱい花壇コンクールの審査員を務め、地域での花いっぱい運動を支え、花のあるきれいな街づくりに大きく貢献している。
24	日本ハンギング バスケット協会 長野県支部	〃	〃	長年にわたり、ハンギングバスケット&コンテナガーデンコンテストの企画・立案等に関わるとともに、市民を対象とした寄せ植え講習会への協力・指導をするなど、花植えに積極的に取り組み、地域での花いっぱい運動を支え、花のあるきれいな街づくりに大きく貢献している。
25	水田 明美 <small>みづた あけみ</small>	兵庫県 姫路市	姫路花銀行 会長 山下 紀年	姫路花銀行の一員として、市内花壇の植栽及び管理作業、(一財)姫路市まちづくり振興機構主催イベントでの鉢花の配布、市花さぎ草の栽培及び普及活動等、地域に大きく貢献している。
26	森崎 捷子 <small>もりさき かつこ</small>	〃	〃	姫路花銀行の一員として、市内花壇の植栽及び管理作業、(一財)姫路市まちづくり振興機構主催イベントでの鉢花の配布、市花さぎ草の栽培及び普及活動等、地域に大きく貢献している。

令和3年度 全日本花いっぱい連盟功労表彰 受賞者

No.	団体名又は個人名	住 所	推 薦 者	功 労 内 容
27	やまだ ひろし 山田 寛志	兵庫県 姫路市	姫路花銀行 会長 山下 紀年	姫路花銀行の一員として、市内花壇の植栽及び管理作業、（一財）姫路市まちづくり振興機構主催イベントでの鉢花の配布、市花さぎ草の栽培及び普及活動等、地域に大きく貢献している。
28	はしもと えいこ 橋本 英子	〃	〃	姫路花銀行の一員として、市内花壇の植栽及び管理作業、（一財）姫路市まちづくり振興機構主催イベントでの鉢花の配布、市花さぎ草の栽培及び普及活動等、地域に大きく貢献している。
29	ふかつ りり子 深津 りり子	〃	〃	姫路花銀行の一員として、市内花壇の植栽及び管理作業、（一財）姫路市まちづくり振興機構主催イベントでの鉢花の配布、市花さぎ草の栽培及び普及活動等、地域に大きく貢献している。
30	NPO 法人 はな 花つぼみ	和歌山県 田辺市	田辺市長 真砂 充敏	1983年に発足し、市内の公園や国道、県道沿いの花壇を整備するなど、本市の花いっぱい運動推進グループの中心的な役割を担い、地域の環境美化と景観向上に大きく貢献している。
31	ほうらいちょう 宝来町花の会	〃	〃	長年にわたり、宝来町地内国道424号沿いの16箇所の花壇への植栽活動を通じて環境美化運動に取り組み、地域の花いっぱい運動の推進に大きく貢献している。
32	ふるお 古尾花の会	〃	〃	長年にわたり、古尾地区の花壇づくりを中心に花いっぱい運動に取り組み、近年では、町内会と協働し「花まつり」を開催するなど、地域の人々の交流と環境美化に大きく貢献している。
33	しもむら 下村花の会	〃	〃	長年にわたり、稲成町下村地区内の花壇づくりを中心に花いっぱい運動に取り組み、地域の環境美化と景観向上に大きく貢献している。
34	みこのはまちょうないかい 神子浜町内会	〃	〃	長年にわたり、神子浜地区内の花壇づくりを中心に花いっぱい運動に取組み、地域の環境美化と景観向上に大きく貢献している。
35	ふるくぼ ていこ 古久保 貞子	〃	〃	長年にわたり、龍神村花いっぱい運動推進協議会の代表として、国道沿いの花壇づくりを通じて環境美化運動に取り組み、龍神村の花いっぱい運動の推進に大きく貢献している。
36	なかむら かつひこ 中村 克彦	福岡県 行橋市	白川 秀典	平成23年から本会会員として、花いっぱい運動用の花育苗に積極的に参加すると共に、花いっぱい運動の実践として市道路側帯花壇約300メートルの植栽管理にも率先して活動している。
37	おきもと くみこ 沖本 久美子	〃	〃	平成23年から本会会員として、花いっぱい運動用の花育苗に積極的に参加すると共に、花いっぱい運動の実践として市道路側帯花壇約300メートルの植栽管理にも率先して活動している。

ご受賞おめでとうございます

花いっぱいサポーター（協賛型）のみなさま

アートボード
農業法人 株式会社秋津野
株式会社東農園
アップル車検田辺
岩見木工所
FM TANABE
大塔観光協会
大阪スバル株式会社 田辺店
大塔交通社
大塔村商工会
株式会社カナセ
ガーデンホテル ハナヨ
紀伊田辺ライオンズクラブ
紀州田辺梅干協同組合
紀州てまり趣味の会
農業法人 株式会社きてら
紀南農業協同組合
紀乃国工芸社
熊野本宮観光協会
コスモリゾート開発株式会社
三友工業株式会社
一般財団法人 新庄愛郷会
新庄漁業協同組合
株式会社スズキモーター和歌山 アリーナ東山店
損害保険ジャパン株式会社
和歌山支店 田辺支社
有限会社武田テント商会
株式会社龍見商店
有限会社タナカ工務店
田辺観光協会
社会福祉法人 田辺市社会福祉事業団
田辺市造園業協同組合
田辺市庁舎新築工事
株式会社石本建築事務所大阪オフィス
一工・山本・第一 特定建設工事共同企業体
第一テック・光明・岩本 特定建設工事共同企業体
田中・東宝・山幸 特定建設工事共同企業体

田辺商工会議所
田辺ダイハツ販売株式会社
田辺土木業協会
田辺西牟婁測量設計業協同組合
田辺はまゆうロータリークラブ
田辺東ロータリークラブ
田辺ライオンズクラブ
田辺ロータリークラブ
株式会社出口組
テクノ富貴株式会社
株式会社テレビ和歌山
東急リゾート&ステイ株式会社
中田食品株式会社
中田マルキ株式会社
中辺路町観光協会
中辺路町商工会
株式会社西日本空撮
服部 義孝
株式会社プラス
ふるきやら田辺
本宮町商工会
マツシタオフィス土地家屋調査士法人
みずほ証券株式会社 田辺支店
株式会社ヤマセミ興業
株式会社山長商店
医療法人 ゆかり歯科
龍神女性会
龍神観光協会
有限会社 Waam
一般社団法人 和歌山県建築士会 田辺支部
公益社団法人
和歌山県公共嘱託登記土地家屋調査士協会
ほか 匿名 4名

〔敬称略・五十音順〕

大会運営にご支援いただき誠にありがとうございました！

花いっぱいサポーター（花育型）のみなさま

【保育所】

牟婁保育所
みどり保育所
もともち保育所
はやざと保育所
稲成保育所
日向保育所
秋津川保育所
湯ノ又保育園
東保育園
柳瀬保育園
くりすがわ保育園
ちかの保育園
あゆかお保育園
ひまわり保育園
たんぼぼ保育園
会津保育所
あゆみ保育所
わんぱく保育所
こどものへや保育園

【幼稚園】

新庄幼稚園
中芳養幼稚園
上秋津幼稚園
三栖幼稚園
昭和幼稚園
シオン幼稚園
立正幼稚園
うえのやま学園
NUKU 森の丘こども園

【小学校】

田辺第一小学校
田辺第三小学校
田辺第三小学校
芳養小学校
大坊小学校
新庄小学校
新庄第三小学校
稲成小学校
会津小学校
上芳養小学校
中芳養小学校
上秋津小学校
秋津川小学校
三栖小学校
長野小学校
田辺東部小学校
龍神小学校
上山路小学校
中山路小学校
中辺路小学校
近野小学校
鮎川小学校
三里小学校
咲葉小学校
本宮小学校

【中学校】

東陽中学校
明洋中学校
高雄中学校
新庄中学校
上芳養中学校
中芳養中学校
上秋津中学校
秋津川中学校
衣笠中学校
近野中学校
中辺路中学校
大塔中学校
本宮中学校
龍神中学校
田辺中学校

【自治会：田辺地区】

湊本通町内会
宝来町内会
朝日ヶ丘町内会
あけぼの町内会
南新万町内会
天神町内会
益穂町内会
御所谷町内会
西郷町内会
古尾町内会
江川町内会
江川榎渡町内会
立戸町内会
目良地町内会
シサイル天神崎自治会
末広町内会
神子浜町内会
東山町内会
文里町内会
上浜田町内会
上屋敷町内会
中屋敷町内会
下屋敷町内会
会津町町内会
本町町内会
紺屋町町内会
橋谷町内会
北長町内会
跡の浦町内会
内之浦町内会
田鶴町内会
神島台町内会
たきない町内会
上秋津町内会
秋津川町内会
稲成町内会
秋津町内会
むつみ町内会
万呂町内会
三栖町内会
長野町内会

城山台町内会
万呂小泉町内会
松原町内会
井原町内会
団栗町内会
崖町内会
境町内会
田中町内会
芋町内会
上芳養町内会
明洋町内会
元町明洋団地町内会
芳養団地町内会
青葉台町内会

【自治会：龍神地区】

上廣井原区
下宮代区
西区
殿原区
東区
安井区
下柳瀬区
上福井区
下福井区

【自治会：中辺路地区】

北郡区
真砂町内会
石船区
大内川区
峰町内会
熊野川区
澤区
水上区
下芝町内会
中芝町内会
上芝下町内会
上芝上町内会
内井川区
高原町内会
川合町内会
温川区
小松原町内会
福定町内会
柿平常会
関の平常会
近露道中常会
木之下常会
大畑常会
長井常会
裏地常会
野中道中常会
方杉常会
上地常会

【自治会：大塔地区】

宇立区
向越区

能登区
内ノ井区
下平区
射場区
鉛山区
合川区
深谷区
中ノ番区
上野区
平瀬区

【自治会：本宮地区】

萩自治会
福寿自治会
大居自治会
下向自治会
九鬼自治会
上町中村地自治会
上地自治会
本町岩田地自治会
渡瀬自治会
皆地自治会
武住自治会
小原自治会
小野自治会
高山自治会
小津荷自治会

【個人】

浅山 フミコ
榎本 茂子
大江 敦子
大江 崇
岡地 未沙
小川 ミナ子
小川 優香
尾崎 千代子
亀田 賢一
亀田 春恵
川崎 千寿子
川崎 ミサ子
河野 智志
河野 秀哉
杉野 久美
竹中 佳子
立本 真菜
立本 瑠希人
立本 ゆかり
谷本 安子
玉置 亜子
天田 きよ子
仲 久美子
中尾 賢一
中林 晶子
中山 篤
林 楓
林 佐代子
宮脇 真規子
森田 英津子

森田 清子
山本 享一
山本 美和子
吉田 華奏
吉田 昌子

【事業所・団体】

アートボード
株式会社 ICS
朝日ヶ丘ビルディング
アップル車検田辺
乾耳鼻咽喉科医院
岩出市まちづくり協議会
花のまち IWAE 委員会(岩出市)
オープンガーデンわかやま(和歌山市)
紀南こころの医療センター
椎出花みずき会(九度山町)
下古沢ふるさとづくりささゆりの会
(九度山町)
社会福祉法人 白浜コスモス福祉会
(白浜町)
新庄町内会連合会
株式会社スズキモーター和歌山
アリーナ東山店
株式会社第一テック
tanabe en+(南紀みらい株式会社)
田辺警察署
田辺市市民活動センター
社会福祉法人 田辺市社会福祉事業団
田辺商工会議所
田辺新庄郵便局
田辺ダイハツ販売株式会社
田辺芳養郵便局
田辺郵便局
とらや薬局
株式会社中川
名手川美化推進委員会(紀の川市)
三階俊博田辺事務所
株式会社初山
NPO 法人花いっぱい推進協議会(和歌山市)
有限会社光運送
放課後等デイサービス
ハッピーテラス どうけい神社前教室
ホテル シーモア(白浜町)
ホテル 天山閣 海ゆう庭(白浜町)
桃山町美化推進協議会(紀の川市)
株式会社山長商店
山長林業株式会社
医療法人 ゆかり歯科
リコージャパン株式会社
和歌山支社 田辺営業所
株式会社和歌山放送

【敬称略・順不同】

約2,700個の
プランターを作成して
いただきました!

ありがとうございました!

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会

実行委員会委員 (23名)

役職	氏名	団体名・職名等
会長	真砂 充敏	田辺市長
副会長	林 誠一	田辺市 副市長
〃	木村 晃和	田辺市 副市長
〃	佐武 正章	田辺市教育委員会 教育長
〃	北田 健治	田辺市議会 議長
〃	古守 一晶	NPO法人花つぼみ 理事長
監事	野村 悠一郎	田辺市自治会連合会 会長
〃	金谷 清道	田辺商工会議所 会頭
委員	原 拓生	田辺観光協会 会長
〃	泰地 雄也	公益社団法人白浜・田辺青年会議所 理事長
〃	渡邊 泰伴	国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所 所長
〃	東 耕太郎	西日本旅客鉄道株式会社紀伊田辺駅 駅長
〃	松場 三恵子	田辺市社会教育委員会 議長
〃	串 明洋	田辺市商店街振興組合連合会 理事長
〃	森川 直巳	南紀みらい株式会社 代表取締役社長
〃	後藤 憲子	田辺市女性会連絡協議会 会長
〃	野見 陽一郎	社会福祉法人田辺市社会福祉協議会 会長
〃	中村 裕詞	和歌山県環境生活部県民局 局長
〃	芝 英司	和歌山県西牟婁振興局 局長
〃	西 貴弘	田辺市総務部 部長
〃	山崎 和典	田辺市企画部 部長
〃	丸山 勝司	田辺市商工観光部 部長
〃	衣田 克	田辺市建設部 部長

企画運営委員会委員 (34名、内5名実行委員会委員兼任)

団体名・職名等	氏名	備考
NPO法人花つぼみ 理事長	古守 一晶	委員長 実行委兼任
NPO法人花つぼみ	岡本 豊穂	
NPO法人花つぼみ	中尾 賢一	
NPO法人花つぼみ	愛須 祥子	
NPO法人花つぼみ	森田 英津子	
NPO法人花つぼみ	安達 幸治	
NPO法人花つぼみ	小山 裕永	
NPO法人花つぼみ	木村 周平	
NPO法人花つぼみ (神子浜町内会 会長)	泉 房次朗	
NPO法人花つぼみ (宝来町内会 会長)	山本 馨	
NPO法人花つぼみ (田鶴口花の会 会長)	横矢 吉見	
NPO法人花つぼみ (下村花の会 会長)	宮本 正信	
田辺市自治会連合会 理事 (古尾町内会 会長)	細野 康治	
田辺観光協会 会長	原 拓生	実行委兼任
田辺商工会議所青年部 会長	恵中 真吾	
公益社団法人白浜・田辺青年会議所 理事	武井 奨	
田辺市商店街振興組合連合会 理事長	串 明洋	実行委兼任
南紀みらい株式会社 専務取締役	尾崎 弘和	
田辺市社会教育委員会 議長	松場 三恵子	実行委兼任
田辺市公民館連絡協議会 (中部公民館長)	田嶋 貞彦	
田辺市立美術館 主任	辰巳 充	
田辺市小中学校校長会 会長 (大塔中学校長)	前山 賢一	
田辺市女性会連絡協議会 副会長	山崎 眞弓	
西日本旅客鉄道株式会社紀伊田辺駅 駅長	東 耕太郎	実行委兼任
国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所 工務第二課 課長 (日本風景街道熊野事務局)	末永 卓	
和歌山県環境生活部県民局県民生活課 課長 (和歌山県花を愛する県民の集い 事務局長)	嶋田 光浩	
和歌山県西牟婁振興局地域振興部総務県民課 課長	濱岡 弘行	
田辺市社会福祉協議会 事務局次長	新谷 淳	
田辺市企画部自治振興課 課長	北尾 幸生	
田辺市商工観光部商工振興課 課長	大西 弘芳	
田辺市商工観光部観光振興課 課長	宇津 裕喜	
田辺市保健福祉部やすらぎ対策課障害福祉室 室長	馬場崎 栄	
田辺市教育委員会学校教育課 課長	瀬田 公寛	
田辺市議会事務局 次長	坂本 明人	

事務局

役職	氏名	備考
事務局長	前溝 浩志	田辺市建設部管理課 課長
事務局次長	宮脇 寛和	田辺市建設部管理課 参事
事務局員	森田 直樹	田辺市建設部管理課公園係 係長
〃	橋坂 卓二	田辺市建設部管理課公園係 主査
〃	吉田 周平	田辺市建設部管理課公園係 主査
〃	平山 直明	田辺市建設部管理課公園係 主査
〃	濱田 有里	田辺市建設部管理課公園係 会計年度任用職員
〃	小阪 有城透	田辺市建設部管理課公園係 会計年度任用職員

令和5年3月25日現在

第61回全日本花いっぱい田辺大会 大会記念誌

令和5年(2023年)7月 発行

【発行者】 第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会(事務局:田辺市建設部管理課)

【住所】 〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町1番地 【電話】 0739-26-9966

【URL】 https://www.city.tanabe.lg.jp/kanri/hanaippai_tanabe/ (右記のQRコードからアクセスできます)



A decorative graphic featuring a green bird perched on a branch with various colorful flowers (yellow, pink, blue, purple) in shades of orange, pink, blue, and purple. The graphic is positioned behind the main title text.

第61回全日本
花 いっぱい
田辺大会



第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会